

2025 年 5 月 15 日

立正大学地球環境科学研究科・大学院入学試験における出題形式について
【博士前期(修士)課程・環境システム学専攻】

地球環境科学研究科 環境システム学専攻における大学院入試の出題形式は、以下の通りとなります。

【外国語(英語)】

- <問1> 地圏環境学・気圏環境学・水圏環境学・生物圏環境学・地球環境情報学に関連する学術書・学術論文等から抜粋した英文(目安:単語数 200 前後、文字数 1000 字前後)の日本語訳を行う。
- <問2> 地圏環境学・気圏環境学・水圏環境学・生物圏環境学・地球環境情報学に関連する英作文問題

【専門】

- <大問> 地圏環境学・気圏環境学・水圏環境学・生物圏環境学・地球環境情報学に関連する問題(5 問)の内から 1 問を選択し、それについて解答を行う。
- <小問> 地圏環境学・気圏環境学・水圏環境学・生物圏環境学・地球環境情報学に関連する専門用語(25 個)の内から 5 個の専門用語を選択し、それらについて詳しく説明を行う。

※過年度の出題例を次ページ以降に付しますので、ご参照ください。

※上記の出題形式につきましては事前に予告することなく、変更することがあります。

地球環境科学研究科 博士前期課程
入試問題

環境システム学専攻（例）

外国語

1. 次の英文を日本語訳しなさい。

著作権上の都合により非公開

出典：IPCC AR6 WGI Ch3. Human Influence on the Climate System. p.425. (一部省略修正)

※ 英文の単語数：153、文字数：931

2. あなたの学部卒業研究の目的と手法を、それぞれ1～2文の英文で説明しなさい。

※ 英文の内容を確認したい場合は、「地球環境科学研究科事務室」において閲覧可能。

地球環境科学研究科 博士前期課程
入試問題

環境システム学専攻

専 門

博士前期課程

大問: 下の大問の中から 1 つ選び解答しなさい。

1. 原核細胞と真核細胞について、違いが分かるようにそれぞれ説明しなさい。
2. 日本の河川の地形学的特徴を述べなさい。
3. 寒帯前線ジェット気流の特徴と成因について、なるべく詳細に記述せよ。
4. 長野県にある涌池の水変わり現象について説明せよ。
5. 地球観測衛星の軌道である「太陽同期準回帰軌道」について、「太陽同期軌道」「準回帰軌道」という言葉を用いて説明し、太陽同期準回帰軌道を利用している衛星を挙げなさい。

小問: 下の用語(設問)の中から 5 問を選び、詳しく説明しなさい。

1. レッドリスト
2. 生産者[生態学]
3. 呼吸(細胞呼吸)
4. 在来生物
5. 個体群
6. ルートマップ
7. 軽石
8. 海進・海退
9. 深発地震
10. 付加体
11. 晴れた夜のほうがくもった夜よりも地表面の放射冷却が強い理由
12. 露点温度
13. 温度風
14. ジオポテンシャル高度
15. オホーツク海高気圧
16. 下水漏水
17. 水素の放射性同位体
18. 断層湖
19. 化石水
20. (地下水研究における)保存性トレーサー
21. 空間分解能
22. SAR センサ(合成開口レーダー)
23. 点群データ
24. 正規分布
25. 大数の法則